

(仮訳)
共同声明
日英戦略経済貿易政策対話

2023年9月6日、西村康稔日本国経済産業大臣及びケミ・ベイデノック英国ビジネス・貿易大臣は、英国科学・イノベーション・技術省及び英国エネルギー安全保障・ネットゼロ省の参加を得て、英国のロンドンで第1回日英戦略経済貿易政策対話（Japan-UK Strategic Economic Policy and Trade Dialogue）を開催した。両閣僚は、「強化された日英のグローバルな戦略的パートナーシップに関する広島アコード」に基づき、相互に関心のある戦略的機会及び課題におけるハイレベルでの日英間の連携を一層強化するため、同対話の設立を歓迎し、継続的に開催することを決定した。

自由貿易に拠って立つ島国である英国と日本は、グローバルな貿易ルールによって、多角的貿易体制の維持・強化にあたって、経済の変革と持続可能で包摂的かつ強靱な成長が実現されるように取り組むことが必要であることを認識する。両閣僚は、広島アコードに基づき、インド太平洋及びそれを越えた地域において、世界貿易機構（WTO）を中核とする、自由、公正かつ強靱な、ルールに基づく国際経済秩序を擁護することを再確認した。また、両閣僚は、経済安全保障上の課題における両国の緊密なパートナーシップを継続する必要性を強調した。さらに、両閣僚は公平な競争条件を歪める非市場的政策及び慣行の影響に対処するため、多国間の枠組で協力することの重要性を改めて確認した。この目的のため、両閣僚は、本年10月に日本で開催されるG7貿易大臣会合に向けて協調的かつ集中的に議論するよう事務方に指示した。

両閣僚は、英国が環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（CPTPP）のメンバーとなることの重要性を強調するとともに、同協定の戦略的価値を支持し、ルールと市場アクセスについてハイスタンドを維持するために緊密に連携することへのコミットメントについて一致した。両閣僚は、また、同協定のハイスタンドを完全に満たし、着実に履行し、遵守する用意があり、貿易面でのコミットメントを遵守する行動を示してきたエコノミーによる加入申請に対して同協定が開かれていることを再確認した。

両閣僚は、さらに重要なサプライチェーンにおける依存関係の低減、経済的威圧の抑止とそれへの対抗のために、国際的なパートナー及び主要な国際枠組を通じて継続的に協力することの重要性を強調した。

両閣僚は、持続可能な未来を実現するための国際的な取組を主導し、エネルギー安全保障及びエネルギー低炭素性の向上を目指すことで結論を出した。また、両閣僚は、両国の強みを活かして、第三国でのクリーンエネルギーに関する二国間の連携及び協力の重要性を認識した。両閣僚は、科学・技術及びイノベーション分野のグローバル・リーダーとして、互いを補完し合う強みを活かし、直面する課題に協力して取り組むことの重要性を共有した。

両閣僚は、以下について重点的に議論し、更なる協力を実施していくことを確認した。

1. 貿易及び投資

- ・ 英国の CPTPP 加入を受け、協定のハイスタンダードを維持し、企業が CPTPP 及び日英 EPA の恩恵を享受できるようにするための共同での取組
- ・ WTO 改革や第 13 回 WTO 閣僚会議の成功に向けた緊密な協力
- ・ 非市場的政策や慣行への対処を通じた、公平な競争条件の確保に向けた共同での取組
- ・ 経験や成功事例の共有を含む、経済的威圧への対処
- ・ 重要鉱物に関する協力覚書の策定を含む、サプライチェーン強靱化の推進
- ・ 英国輸出信用保証局 (UKEF) と日本貿易保険 (NEXI) との間の新たな協力覚書等を通じた、第三国におけるインフラ・プロジェクトに対する金融支援に関する協力

2. エネルギー

- ・ 水素、太陽光、洋上風力、原子力、CCUS を含むクリーンエネルギー技術の導入
- ・ 日英両国及び第三国におけるクリーンエネルギーに関する日英企業の協力の奨励

3. イノベーション

- ・ 日英両国における創業機会の創出を目的とするイベントを含めた、スタートアップやスピンアウト企業等によるエコシステム間の連携強化
- ・ 日英両国の強みを有する半導体・AI 分野の協力